

【 AEDの使用手順 】

救急隊が到着するまでに電気ショックを行った場合、**社会復帰率が約2.4倍上昇**します

⑥電源を入れる



ふたを開け電源ボタンを押す
(ふたを開けると自動的に電源が入る機種もある)

⑦電極パッドを貼る



胸の右上(鎖骨下)と胸の左下側(乳頭斜め下)

⑧心電図の解析



・患者者に誰も触れていないことを確認する
・2分毎にAEDが自動的に心電図を解析する

⑨電気ショック



・必ず自分も含め誰も患者者に触れていないことを確認してからショックボタンを押す
・カウントダウン後自動的に電気ショックするタイプもある(オートショックAED)

⑩胸骨圧迫



・到着した救急隊と交代するか、目的のある仕事ができるまで続ける
(⑥→⑧→⑨→⑩を繰り返す)

救急隊 活動区
(赤十字会)



全国AEDマップ
(日本赤十字会)



【 心肺蘇生の流れ 】

救急隊が来るまで約9分(全国平均)、**あなたの心肺蘇生で救える命があります**

①周囲の安全を確認



③大声で応援を求め 119番通報とAEDの手配



・119番通報すると通信指令員が行うべきことを指導します
・電話のスピーカー機能を活用すれば両手が使え、指示を受けながら胸骨圧迫などが行えます

⑤胸骨圧迫



・到着した救急隊と交代するか、目的のある仕事ができるまで続ける

②反応の確認



・反応があるが状態に迷う場合や、わからない場合も心停止の可能性を考えて行動

④呼吸の確認



・胸と腹の上がり下がりを見て「普段通りの呼吸」をしているか10秒以内に判断
・息が持たない、わからない場合は胸骨圧迫を開始

胸の真ん中(胸骨の下半分)を圧迫する

☆深さ：約5cm沈み込むまで

☆速さ：100～120回/分

☆休憩時間なく：中断時間は最小限

☆戻す：胸が元の高さに戻るまで

心肺蘇生の動画2020S最新

・心停止直後にみられることがある
透切れ透切れの呼吸(呼吸監視器)→



たじ丸